

令和6年度第3回(第16回) 瑞穂町地域公共交通会議資料



令和6年10月11日(金)
場所:瑞穂町役場 会議室2-1・2-2

令和3年10月 コミュニティバス実証実験運行開始

令和5年4月 新たな運行計画での運行開始

令和5年度

地域公共交通会議での主な議題・決定事項

- 運行評価基準を設定し、2路線の代替サービスへの移行を確認
- 意見交換会を踏まえ、代替サービスは町内全域を対象としたデマンド交通を採用

令和6年5月28日 令和6年度第1回地域公共交通会議

【報告事項】利用実績 【協議事項】実証実験運行終了後の公共交通の運行方針

令和6年7月29日 令和6年度第2回地域公共交通会議

【報告事項】●利用実績、地域公共交通計画の策定について

【協議事項】●コミバス見直し、デマンド交通運行計画

本日

令和6年10月11日 令和6年度第3回地域公共交通会議

【報告事項】●コミュニティバス利用実績、デマンド交通認可申請・説明会の実施状況

【協議事項】●地域公共交通計画策定に向けたアンケート調査(案)

利用状況の把握、調査の実施

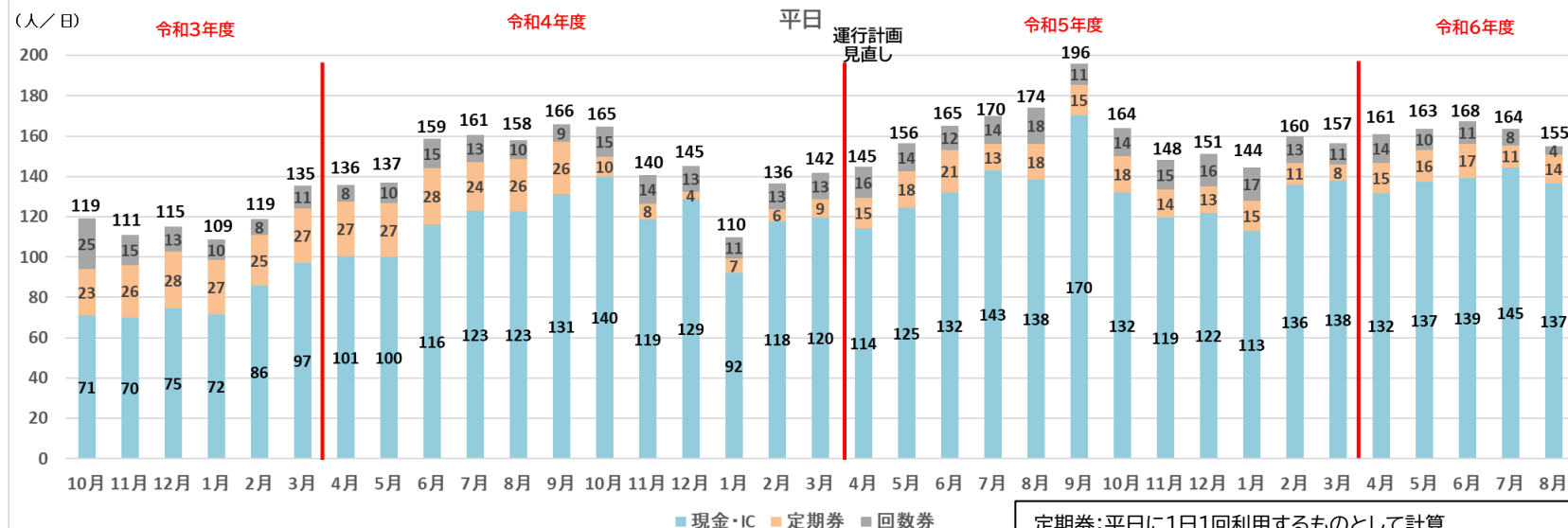
継続的な広報・周知活動

認可申請

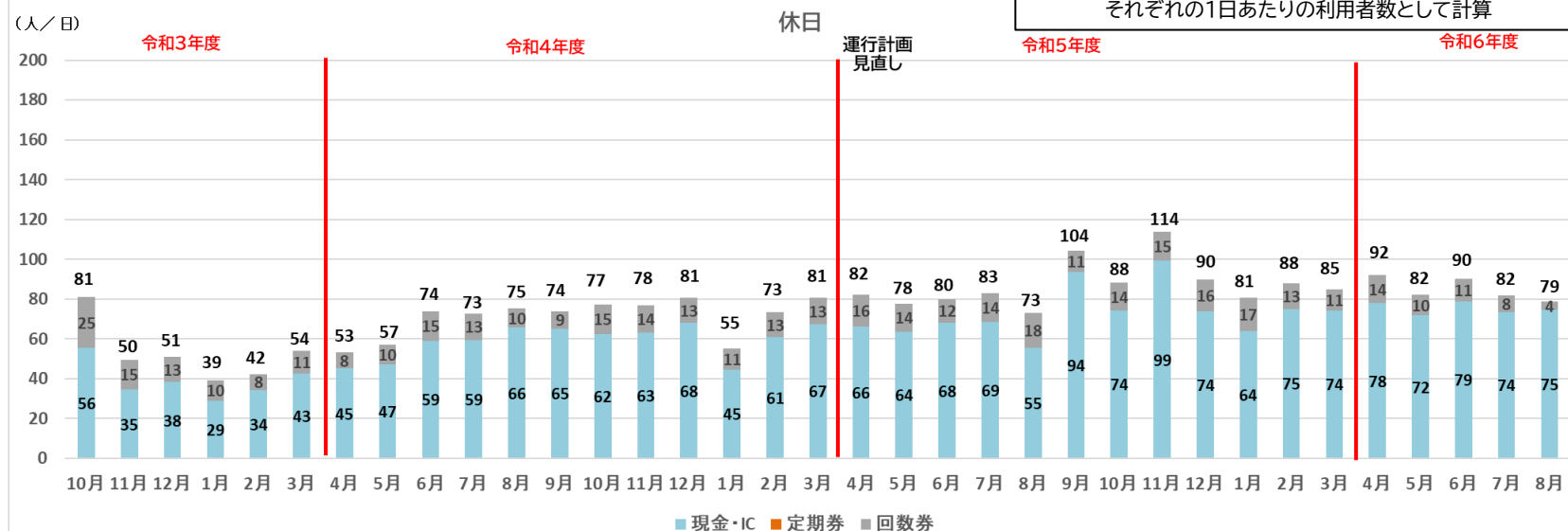
(1)瑞穂町コミュニティバス 運行状況の報告について

利用実績① 1日あたりの利用者数の推移

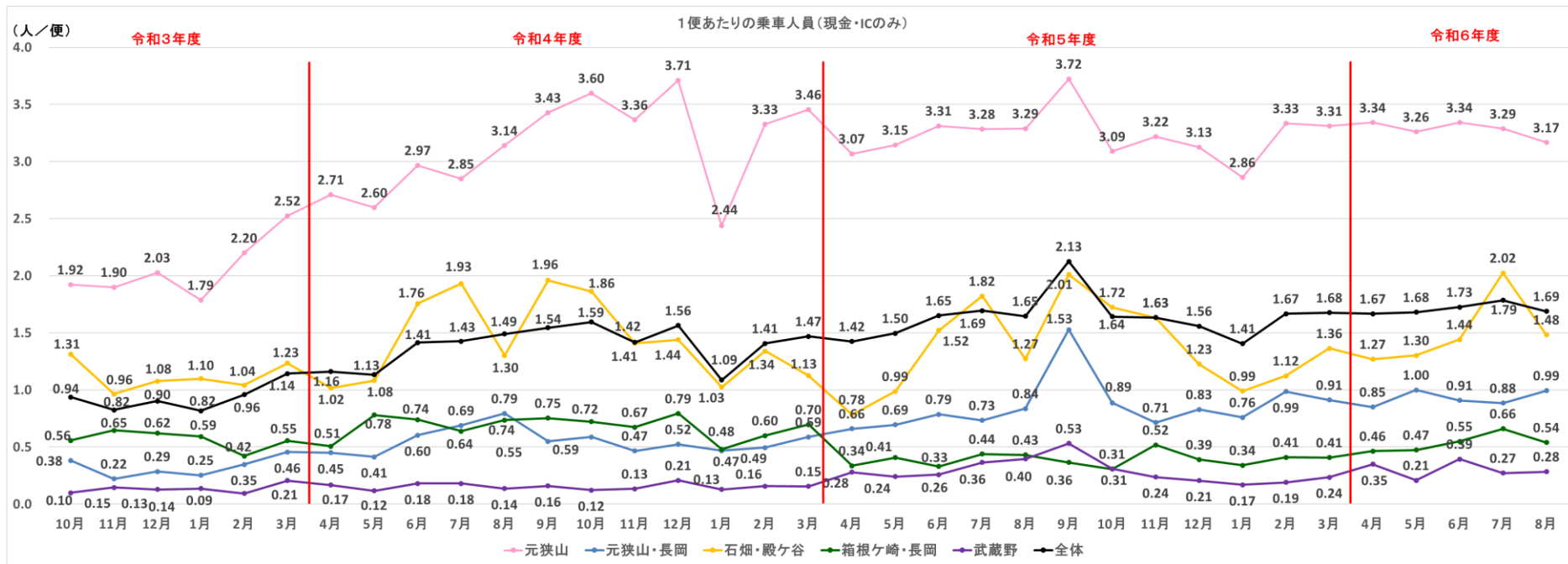
- 平日は例年4月から9月まで概ね右肩上がりにだったが、今年度は月ごとの変動が小さい
- 4月以降、休日は7月を除き前年同月を上回っている



定期券:平日に1日1回利用するものとして計算
 回数券:販売した券の枚数を、その月の日数で除した値を平日・休日それぞれの1日あたりの利用者数として計算



- 全体の値は、**4月以降常に前年同月を上回る**
- 路線別にみると、元狭山コースは8月以外は前年同月を上回る
- 元狭山・長岡コースは、4月以降常に前年同月を上回る
- 石畑・殿ヶ谷コースは6月以外は前年同月を上回り、例年同様7月が大きく他の月を上回る
- 運行が終了する箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースは概ね**引き続き1.0人/便未満**



- 全体の概算収支率は前年4～8月の7.3%より改善し8.1%
- 全路線で前年4～8月より改善し、特に元狹山・長岡コース、石畑・殿ヶ谷コースは1ポイント以上の改善
- 元狹山・長岡コース、箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースは引き続き5%未満

■令和6年度4-8月収支率(概算)

	元狹山	元狹山・長岡	石畑・殿ヶ谷	箱根ヶ崎 ・長岡	武蔵野	全体
運行経費(百万円)	18.9	12.4	7.7	3.3	2.6	45.0
運賃収入(百万円) ※定期券、回数券を含む	2.4	0.6	0.5	0.1	0.1	3.7
町負担額(百万円)	16.5	11.9	7.2	3.2	2.6	41.3
収支率(%)	12.8	4.6	6.5	3.5	2.1	8.1
R5年度収支率(%) (4-8月概算)	12.3	3.4	5.4	2.6	2.0	7.3
昨年度からの増減 (ポイント)	+0.5	+1.2	+1.1	+0.9	+0.1	+0.8

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、全体が各路線の合計と一致しない等計算が合わないことがある
※運行経費は、令和5年度の全体の運行経費を1年間の走行距離に応じて各路線に配分して計算

(2) 瑞穂町デマンド交通実証実験 運行状況の報告について

■コミバス運行計画の変更案・デマンド交通の運行計画案

➡前回会議後、東京運輸支局に申請を行い、無事認可

10/1より運行開始済み

※運行計画は別紙参照

■デマンド交通の実証実験開始に伴う説明会の実施

➡以下4箇所において、計8回の説明会を実施

場所	日時	参加者
瑞穂町民会館	9月19日(木) 14時～	5名
	9月26日(木) 10時～	5名
武蔵野コミュニティセンター	9月20日(金) 10時～	17名
	9月27日(金) 10時～	9名
長岡コミュニティセンター	9月24日(火) 10時～	8名
	9月30日(月) 10時～	4名
元狹山コミュニティセンター	9月19日(木) 10時～	42名
	9月30日(月) 14時～	15名

■デマンド交通の会員登録の状況

➡10月3日(木)時点で46名が登録



(3) 瑞穂町地域公共交通計画の 策定について

- 令和6～7年度の2か年で「地域公共交通計画」を策定
- 計画年次は令和8年度～令和17年度 ※モノレール延伸の具体化に合わせ更新の可能性

■地域公共交通計画とは…

- 「地域にとってのぞましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすもの(対象地域の**公共交通に関する今後の取り組みの拠りどころ**となる計画)
- 全ての地方公共団体において、**計画の作成や実施を「努力義務」**として定めている

■策定の意義

- 今後取り組んでいく事業について、住民や議会、関係者への説明の根拠となる
- 交通機関同士の**役割分担の明確化と連携強化**
- 国から財政支援を受けるために必要な資料となる

参考:国土交通省「地域公共交通計画等の作成と運用の手引き 第3版」

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001475484.pdf>

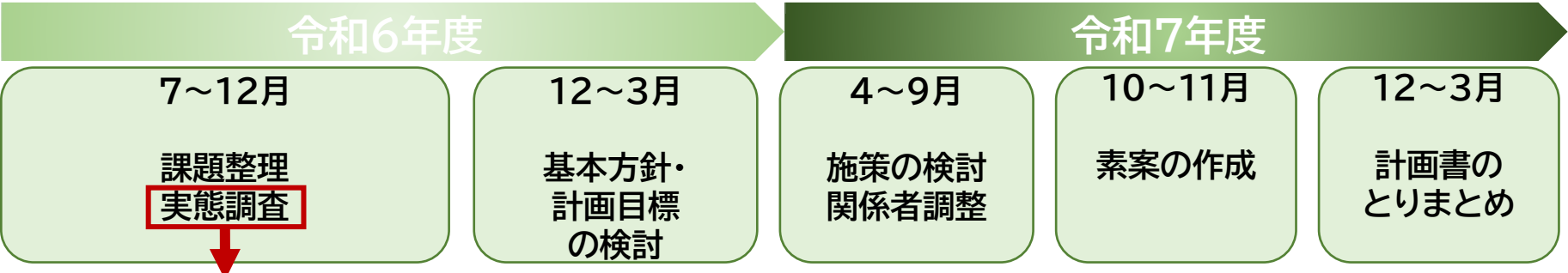
■本計画の役割

多摩都市モノレールの延伸を契機として、**JRと多摩都市モノレール、路線バス、コミュニティバス、デマンド交通、タクシーなどそれぞれの交通機関の役割を明確にするとともに、地域の公共交通に関する取り組みの行政、交通事業者、住民等のそれぞれの役割も明らかにする**

■策定にあたり意識するポイント

- 自動車から公共交通への転換の促進
- 公共交通網の中長期的な維持
- 立地適正化計画との整合
- 高齢者、交通不便地域の移動手段の確保
- モノレール延伸後を見据えた公共交通網、交通結節点の検討

■策定スケジュール(前回資料再掲)



以下の調査を11月ごろに実施予定

調査内容	目的	調査方法	調査対象(案)
住民アンケート	地域ごとの移動実態を分析し、現在の公共交通網ではカバーできていないニーズなどを把握	郵送で配布、郵送もしくはWEBで回答	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上※の住民2,000人
利用者アンケート	- 路線バスの利用実態(移動目的、目的地、乗り継ぎ有無等)の把握 - 計画目標の設定のため現在の満足度の把握	- 箱根ヶ崎駅等のバス停数箇所 で配布、郵送もしくはWEBで回答 - 平日・土曜に各1日実施	町内を運行する路線バスの利用者300人
事業者アンケートおよびヒアリング	- 運転手不足の実態、新技術の検討動向把握 - 民間送迎バス事業者が公共輸送を担える可能性の把握 - 渋滞箇所、危険箇所など町内の道路環境の改善箇所	- メールやFAXでの配布、WEBもしくはFAXでの回答 - 一部事業者は追加でヒアリングを行い深掘り	鉄道事業者、路線バス事業者、タクシー事業者、民間送迎バスの運行事業者(ジョイフル本田等)

※若年者は回収率が低い傾向があるため、高校生に対しては学校を通じた調査の実施を検討

調査内容	項目(案)
住民アンケート	・ 通勤・通学、買い物、通院などの外出目的別の移動実態(目的地、頻度、移動手段等) ・ 外出の頻度、公共交通の利用頻度 ・ コロナ禍前後の移動量・移動実態の変化 ・ 最寄りバス停までの移動時間・負担感 ・ 町の公共交通への満足度 ・ 公共交通の利用促進に繋がる取り組み ・ JR八高線・箱根ヶ崎駅の利用状況 ・ 多摩都市モノレールの延伸後の利用の見通し ・ 運転免許証、自動車の保有状況
利用者アンケート	・ 利用した路線 ・ 目的地の所在地域、移動目的 ・ 利用した時間帯 ・ 乗り継ぎの有無、乗り継いだ交通手段 ・ 箱根ヶ崎駅のバス待ち環境 ・ 多摩都市モノレールの延伸後の利用の見通し ・ 運転免許証、自動車の保有状況
事業者アンケート およびヒアリング	・ コロナ禍前後の利用状況の変化 ・ 道路混雑の発生箇所、危険を感じる箇所 ・ 運転手の在籍状況、不足状況 ・ 運転手不足以外の事業課題 ・ 行政に期待する支援 ・ 公共輸送に協力できる可能性・条件(タクシー・貸切バス・送迎バスのみ) (ヒアリング時の追加確認事項) ・ 今後の箱根ヶ崎駅についての取り組み、多摩都市モノレール延伸後のJR八高線 ・ 自動運転や配車アプリ、ライドシェアなど新しい技術や法制度に対する動向 ・ 町内でのバス・タクシー利用状況

令和6年7月 令和6年度第2回地域公共交通会議

- 最終的な運行計画の承認

令和6年8月～ 広報・周知活動

令和6年10月 コミバス運行計画変更／デマンド交通の運行開始

令和6年10月 令和6年度第3回地域公共交通会議

- 運行計画(確定版)の報告
- 地域公共交通計画策定について(アンケート調査実施方針)

本日

令和6年10～令和7年2月 アンケート実施・分析／計画目標等の検討

令和7年2月 意見交換会の実施

令和7年2月 令和6年度第4回地域公共交通会議

- 変更後のコミバス／デマンド交通実証実験の経過報告
- 地域公共交通計画策定について(調査結果報告、計画目標の設定等)

認可申請

利用状況の確認・評価